

第54回静岡県空手道連盟選手権大会要項

静岡県中学校空手道選手権大会要項

静岡県空手道連盟 会長 堀川博明
理事長 近藤善之
競技委員長 田辺 豊

- 開催日時 令和5年5月26日（日） 審判会議 8:15 試合開始 8:45
- 会場 静岡県武道館 静岡県藤枝市前島2丁目10-1
- 主催 静岡県空手道連盟
協賛 (公財) 全日本空手道連盟、静岡県武道協議会
後援 静岡県教育委員会、(公財) 静岡県体育協会、静岡新聞社・静岡放送
- 種目
○静岡県選手権大会 組手競技（個人戦） 形競技（個人戦）
○中学生大会 組手競技（団体戦、個人戦） 形競技（団体戦、個人戦）
- 競技内容
両大会ともに全空連競技規定（令和5年12月改正ルール）及び競技委員会打ち合わせ細則に準拠して行う。
- 参加資格 次の条件全てを満たしていることを参加資格とする。
 - 参加選手の所属する支部は静岡県空手道連盟に加盟していること。
 - 参加選手は（公財）全日本空手道連盟（以下、「全空連」）の会員であること。
※大会前日までに会員登録をしていない選手は、失格とする。
 - 成年の部出場者は令和6年4月1日時点で18歳以上であること。
 - 高校生の部出場者は令和6年4月1日時点で15歳以上17歳以下であること。
※大会申込書に全空連会員番号及び全空連公認段位の認定番号を必ず記入すること。
事務局で全空連に照合させていただきます。

7 参加料

成年・少年少女個人戦（1競技・1名）	4,000円
中学生 団体戦（1競技・1チーム）	4,000円
中学生 個人戦（1競技・1名）	3,000円

8 参加料振込先

金融機関：清水銀行中田支店	店番：308
口座番号：普通 2207334	口座名義：静岡県大会

- 申し込み期間 令和6年4月30日（火）まで（参加料振込期限）
 - 参加申し込み期間内に入金を確認できない場合は申し込みを受け付けない。
※入金の際には必ず支部名で入金を行うこと。
 - 申込書は下記の申込み先まで郵送またはE-mail 送信すること。
（申込書の電子データを下記申込先のE-mail アドレス宛てに請求できる）
 - 静岡県空手道連盟HP (<https://www.seikuren.com/>) から申し込み書をダウンロードできます。
※締め切り日以降の受付は一切行わない。

10 申込み先

静岡県空手道連盟選手権大会実行委員会 三藤 宏
住 所：〒421-0206 焼津市上新田48-3
連絡先：090-3441-5286
メールでのお申し込みはこちらまで→E-mail：ywxph346@yahoo.co.jp

11 大会係員及び審判員

審判員の不足が予想されます。各支部からご協力をお願いします。

12 組合せ抽選

- ・競技委員会にて行う。
- ・令和5年度本大会入賞選手4位までを第1シードから第4シードに順次割り当て、前回入賞者の申し込みが無い場合はシード順位を繰り上げる。

なお、中学生の部は令和5年度中学1・2年生空手道選抜大会の結果、少年（高校生）の部は令和6年度静岡県高等学校総合体育大会（令和6年度5月4日・5日）の結果を参照する。

13 参加上の注意

- ・競技当日の傷害等の応急処置は主催者が行うが、その後の責は負わない。
- ・参加選手はスポーツ傷害保険に加入しておくこと。
- ・体調不良者や興奮しやすい性格等の問題のある者は出場させないこと。
- ・空手衣の刺繍の色・紐の有無・形競技による礼の回数については全空連の規定に準じて行うので所属支部内で周知徹底を図ること（申し合わせ事項に規定する場合は、この限りではない）
- ・国民体育大会及び全日本空手道選手権大会に出場する選手は、全日本空手道連盟公認段位（高校生以上）が必要となる。全空連公認段位を取得していない者は、3位入賞しても県代表選考会に参加出来ない。
- ・プログラムの配布は行わないものとする。（県連HPに掲載）
- ・表彰は各カテゴリーの試合終了後、準備が整い次第、順次カテゴリーごと本部席横で行う。（表彰対象者は放送で案内します。）
- ・別紙集合時間を守って集合すること。（種目別集合時間別紙参照）（集合場所、会場入口、会場出口は別紙参照）
- ・集合場所には道着着用の上、集合すること。
- ・係員の指示に従って行動すること。
※係員の指示に従わない場合は選手の出場を取りやめることとする。保護者が指示に従わない場合においても同様にその保護者の選手（子供）が出場停止となる。

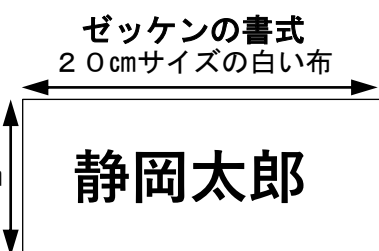
14 ゼッケン フルネームのみを記載。

各自ゼッケンを作成し稽古着の背に取り付けること。

なお、取り付けに金属類は使用しないこと。

ネーム色：男子は黒色、女子は赤色とする。

少年の部（高校生）は高体連のゼッケン使用可とする。10cm



15 駐車場・他

- ・会場の駐車場は使用不可。民間駐車場を利用すること。
極力公共交通機関を利用してください。
- ・履物は各自靴入れ袋等を持参し、個人携行品と共に自主管理すること。

16 全国大会連絡

大会終了後、全国中学校空手道選手権大会申込書の配布及び説明を行うので、各種目の出場候補選手と支部責任者は本部会議室に集合すること。

【第54回静岡県空手道連盟選手権大会】

本大会の組手競技及び形競技の3位までに入賞した者は、本年度の国民体育大会の県代表選手選考会の候補者とする。県代表選手選考会を開催する。

1. 形競技

○個人戦【エントリー数の制限なし】

(1) 成年男子 (2) 成年女子 (3) 少年男子 (高校生) (4) 少年女子 (高校生)

○形の種類

指定形：全空連競技規定付録17の指定形 (第1指定形、第2指定形)

得意形：全空連競技規定付録18の得意形

○競技規定 全空連競技規定及び競技委員会打合せ細則に準じて行う。

(大会開催時における最新の全空連競技規定に準拠)

① 採点方式で行う。

② 審判員は5人制とする。

③ 各ラウンド1名ずつ演武する。

④ グループ数、1グループの人数、形の数はエントリー数により決定する。(別表1 参照)

⑤ 演武形は下記のおとりとする。(別表2 参照)

予選第1・2ラウンド	第1・第2指定形
予選第3・4ラウンド	得意形 (繰返し可)
メダルマッチ	得意形 (未使用の形)

※エントリー数の5名以下の場合、指定形又は得意形を演武できる。

エントリー数が6名～10名は、第1ラウンドで第1又は第2指定形を演武する。

⑥ メダルマッチ (決勝、3位決定戦) において、演武は赤から行う。

2. 組手競技

○個人戦【エントリー数の制限なし】

(1) 成年男子 軽量級の部 (体重65kg 未満)	(4) 成年女子の部
(2) 成年男子 中量級の部 (体重65kg～75kg)	(5) 少年男子の部 (高校生)
(3) 成年男子 重量級の部 (体重75kg 超)	(6) 少年女子の部 (高校生)

※組手個人戦成年男子の部出場選手は、召集前に必ず計量を行うこと。

○競技規定 全空連競技規定及び競技委員会打合せ細則に準じて行う。

(大会開催時における最新の全空連競技規定に準拠)

① トーナメント方式で、3位決定戦を行う。

② 競技時間内に8ポイントの差を得た者または競技終了時に得点の多い者を勝者とする。競技時間終了時に同点の場合は、「先取」した者を、互いに先取なき場合は得点の高い技を決めた者を、内容も同じ場合は「判定」をとって勝敗を決する。

③ 競技時間は、成年男子は2分間 (決勝戦は3分間) でフルタイム制、成年女子及び少年(男女)は1分30秒間 (決勝戦は2分間) でフルタイム制とする。

④ 安全具

- ・全空連検定ニューメンホーVI (シックス) 及び、VII (セブン) のみ使用可
- ・全空連検定拳サポーター (白色及びリバーシブルタイプは使用不可)
- ・全空連検定ボディプロテクター (成年男子・女子、少年、空手着の内側に着用)
- ・全空連検定シンガード・インステップガード(WKF公認のも可)
- ・セーフティカップ(男子のみ)
- ・安全具を着装しない選手は出場できない。

【静岡県中学校空手道選手権大会】

- ・第32回全国中学校空手道選手権大会（8月20日～22日 大阪府）の選手選考会を兼ねる。
- ・本大会の組手競技及び形競技の上位入賞者の個人戦2名及び団体戦2チームを全国中学校空手道選手権大会の第一候補とする。
ただし、団体戦は上位2チームが同一校の場合は、1校1チームの規定（全中）により1チームのみの出場とし、3位チームを繰上げとする。
- ・スーパーシード方式を採用する。（令和6年度 該当なし）

1. 形競技

- ①ベスト8まではフラッグ方式、準決勝からは採点方式とする。
 - ・審判員は5人制とする。
 - ・審判は、競技点と技術点の総合評価点として採点する。（1回出し）
- ②個人戦は、2名同時に演武する。但し、メダルマッチのみ1名ずつ演武する。
- ③団体戦は、1チームごと演武をする。
- ④グループ数、1グループの人数（チーム数）は、エントリー数により決定する。（別表1参照）
- ⑤団体競技は学校対抗、登録選手5名までの3人制とし、男女混成チームは認めない。

⑥エントリー数

- ・団体戦 3名編成、補欠1名（必須ではない）
1支部あたり 各種目2チームまで、同一中学校単位でチーム編成すること。

○中学生男子の部	○中学生女子の部
----------	----------

- ・個人戦 人数制限なし

○中学生男子の部	○中学生女子の部
----------	----------

⑦形の種類

- 基本形：平安またはピンアン初・2・3・4・5段、ゲキサイ1・2
 指定形：全空連競技規定付録17の指定形（第1指定形、第2指定形）
 得意形：全空連競技規定付録18の得意形

⑧競技規定 全空連競技規定及び競技委員会打合せ細則に準じて行う。

（大会開催時における最新の全空連競技規定に準拠）

⑨演武形

	個人戦	団体戦
予選ラウンド	第1指定形又は基本形 繰返し可	第1指定形・第2指定形 基本形 (同一形繰返し可)
メダルマッチ前のラウンド	第2指定形	
メダルマッチ	使用していない得意形	得意形・使用していない指定形

※エントリー数の3名（チーム）以下の場合、基本形、指定形又は得意形を演武できる。
 エントリー数が4名～10名は、第1ラウンドで第1、第2指定形又は基本形を演武する。

3位決定戦は同じ形を行ってもよい

⑩メダルマッチ（FINAL）において、演武は赤から行う。

2. 組手競技

- ①トーナメント方式とし、3位決定戦も行う。
- ②団体競技は学校対抗、登録選手5名までの3人制とし、男女混成チームは認めない。
登録された選手のオーダー変更は回戦ごとに自由とする。なお、団体組手は2名でも参加可能とするが、対戦するチームが双方2名の場合は、オーダーは先詰めとする。

③エントリー数

- ・団体戦 3名編成、補欠1名（必須ではない）
1支部あたり 各種目2チームまで、同一中学校単位でチーム編成すること

○中学生男子の部	○中学生女子の部
----------	----------

- ・個人戦 人数制限なし

○中学生男子の部	○中学生女子の部
----------	----------

④競技規定 全空連競技規定及び競技委員会打合せ細則に準じて行う。

(大会開催時における最新の全空連競技規定に準拠)

(ア) トーナメント方式で、3位決定戦を行う。

(イ) 競技時間内に6ポイントの差を得た者または競技終了時に得点の多い者を勝者とする。競技時間終了時に同点の場合は、「先取」した者を、互いに先取なき場合は得点の高い技を決めた者を、内容も同じ場合は「判定」をとって勝敗を決する。

(ウ) 競技時間は、全試合1分30秒間でフルタイム制とする。

(エ) 安全具

- ・全空連検定ニューメンホーVI（シックス）及び、VII（セブン）のみ使用可
- ・全空連検定拳サポーター（白色及びリバーシブルタイプは使用不可）
- ・全空連検定ボディプロテクター（空手着の内側に着用）
- ・全空連検定シンガード・インステップガード(WKF 公認のも可)
- ・セーフティカップ(男子のみ)
- ・安全具を装着しない選手は出場できない

別表 1 (形競技 エントリー数に対する各ラウンドのグループ数と必要な形の数)

出場人数	組まれるグループの人数	最大で必要な形の数	備考
2	1	1	すぐ決勝
3～5	1	1	すぐ順位決定戦をし、1・2・3位を決める
6～10	2	2	各グループの1位同士が決勝、2位同士が3位決定戦で3・4位を決める
11～24	2	3	第2ラウンドに進む選手は合計8名
25～48	4	4	第2ラウンドに進む選手は合計16名
49～96	8	4	第2ラウンドに進む選手は合計32名
97～	16	4	第2ラウンドに進む選手は合計64名

*グループ人数は最大12名まで

別表 2 (形競技 エントリー数に対する各ラウンドの選考人数と形の種類)

エントリー数	予選 第1ラウンド	予選 第2ラウンド	予選 第3ラウンド	予選 第4ラウンド	メダルマッチ (決勝・3決)
2～5	グループ数 1 (順位決定) 得意形	—	—	—	—
6～10	グループ数 2 (各3～5名) 第1・2指定形*	—	—	—	各グループ 1位 2位 得意形
11～ 24	グループ数 2 (各5～12名) 第1指定形*	グループ数 2 (全8名) 第1ラウンド上位4名 第2指定形	—	—	
25～ 48	グループ数 4 (各6～12名) 第1指定形*	グループ数 2 (全16名) 第1ラウンド上位4名 第2指定形*	グループ数 2 (全8名) 第2ラウンド上位4名 得意形	—	
49～ 96	グループ数 8 (各6～12名) 第1指定形*	グループ数 4 (全32名) 第1ラウンド上位4名 第2指定形*	グループ数 2 (全16名) 第2ラウンド上位4名 得意形	グループ数 2 (全8名) 第3ラウンド上位4名 得意形	

*中学生は第1指定形と基本形

【形競技のラウンド例】

※エントリー数

40名の場合

